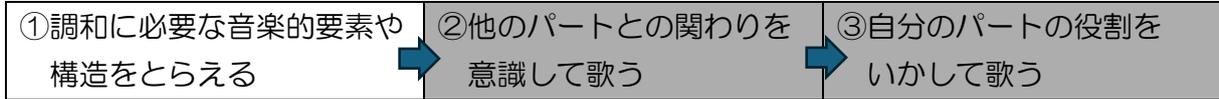


合唱プリント No.1 自分のパートの中で大切な要素や構造をとらえて歌おう

年 組 番 名前 ()

【題材の流れ】



【この時間の目標】 **自分のパートの中で大切な音楽的要素を見つけて歌う。**

自分のパートに○→ (ソプラノ・アルト・テノール・バス)

【活動の流れ・内容】

1) 「いい合唱」「調和のとれた合唱」ってどんな合唱のことだろう? /必要なもの：楽譜

自分の考える「いい合唱・調和のとれた合唱」をするために大切なことを楽譜の中の情報をヒントに考えてみよう (ヒント：音符、休符、歌詞や発音、強弱、構成、和音など)

自分の考える大切なこと・要素	他の人の考える大切なこと・要素

2) 自分のパートに線を引こう。～楽譜上でどこをたどるか～ /必要なもの：楽譜、マーカー

3) プレスの位置や**休符**の位置 (タイミング) をとらえよう。 /必要なもの：楽譜、ペン



全休符 2分休符 4分休符 8分休符

4) 本日のまとめ：今日の練習を通して、改めて「いい合唱・調和のとれた合唱」をするために大切なことは何だと思うか、今日の結論をまとめよう。

「いい合唱・調和のとれた合唱」のために必要な要素・歌い方・ポイントとなる楽譜の中の情報

合唱プリント No.2 自分のパートや他のパートの役割を意識して歌おう

1年 組 番 名前 ()

【題材の流れ】

- ①調和に必要な音楽的要素や構造をとらえる → ②他のパートとの関わりを意識して歌う → ③自分のパートの役割をいかして歌う

【この時間の目標】 **自分のパートの役割や楽曲の構造を理解して歌う。**

【活動の流れ・内容】

1) 前回の振り返り…録音を聞いてみよう。

★調和に必要な音楽的要素は→ ()

2) ウォーミングアップ：言葉のもつリズム（音価、音程）を体感しよう。

「はあ」って言うゲーム ～シチュエーションを想像して言ってみよう～

- ①「気持ちが落ち込んだときの“はあ”」
- ②「急に怒ったときの“はあ”」
- ③「空手などで気合を込めた“はあ”」

語尾や語頭の音の高さや長さを変化させて、シチュエーションを表現してみよう！※

※日本語は音の長さ（音価）や音の高さ（音程）によって言葉の意味やニュアンスが変わる言語。

3) 歌詞の読み比べ（朗読）をしよう。～歌の練習の中で～ /必要なもの：楽譜、ペン

①音の長さ（音価）と言葉のリズムを結びつける練習

A 「かわはーかぜとー語り合っているよー」

B 「かわは、 かぜとー語り合っているよ、」

楽譜のリズムに近いのはA・Bどちらだろう？（記号に○）

《楽譜①》



8分休符で言葉を区切ることでのどのような発音上の効果があるだろう？
「川は」の語尾、「風と」の語頭、「語り合っているよ」への流れは…

《楽譜②》



②音の長さ、息のスピードやニュアンス（音色）を工夫する練習

A 「ほらねー僕らはひとりじゃないー」

B 「ほらね、僕らはひとりじゃないー」

休符の有無に注目

繋ぐ、切り離すことで「ほらね」の読み方はどう変わるだろう??

《楽譜③》



ほらね ぼくらはひとりじゃない

A 「きっとねーだれもひとりじゃないー」

B 「きっとね、だれもひとりじゃないー」

発音のスピード感、息の勢いは鋭いほうが良いか、緩いほうが良いか？

《楽譜④》



きつとね だれもひとりじゃない それでも

「ゆっくりそと〜」を A “熱いラーメンを冷ますように速い息で、はきはきと発音する”

B “冷えた手を温めるように柔らかい息で、ていねいに発音する”

《楽譜⑤》



ゆっ くりそっ とう たをうたおう おもいでつまっ た あのうたを

4) まとめ：他のパートとの関わりを意識するためのポイントを押さえよう

《用語と演奏上のポイント：練習後に記述しよう！》

<p>ユニゾン</p>	<p>歌詞の(①)のタイミングがそろおう。</p> <p>歌った結果どう変化したか？</p> <p>→</p>
<p>主旋律とハーモニー</p>	<p>その瞬間どこのパートが主旋律(メロディ)になるか、よく(②)ながら歌う。</p> <p>歌った結果どう変化したか？</p> <p>→</p>
<p>掛け合い</p>	<p>パートごとの歌詞の発音のタイミングが(③)箇所。※歌い出しを主張する。</p> <p>歌った結果どう変化したか？</p> <p>→</p>
<p>言葉の発音</p>	<p>発音のタイミングをそろえたり、(④)や母音の響きを整えたりする。</p> <p>歌った結果どう変化したか？</p> <p>→</p>

合唱プリント No.3 他のパートの動きや魅力を知ろう

1年組 番 名前

【題材の流れ】



【この時間の目標】 自分のパートと他のパートの表現上のポイントをとらえる

【活動の流れ・内容】

1) 自分のパートを歌うとき、ポイントとなる部分はどこにあるだろう？

ポイントとなる部分（歌詞や小節、A、Bなどの場面で示して記述しよう。）
 (例) 「川は～の歌い出しの部分」

そこをどのように歌うと良いだろう??
 (例) 「一文字目の子音を準備してはっきりと発音をそろえる。」

2) 他のパートのパートレッスンを聞いて気づいた「良さ、魅力となる部分」をメモしよう。

パート名：	よさ、魅力ポイント
パート名：	よさ、魅力ポイント
パート名：	よさ、魅力ポイント

3) ここまでの学習でわかったこの曲の構造と他パートとの関わりを、キーワードを参考にまとめよう。 知識

キーワード【ユニゾン・主旋律・ハーモニー・掛け合い・休符・言葉の発音】

A	(例) ユニゾンからハーモニーに変化しているから●●パートとの音の重なりを意識する。
B	
C	
D	
E	

合唱プリントNo.4 他の声部との関わりを意識して表現意図を持って歌うために

1年 組 番 名前

【題材の流れ】



【この時間の目標】 他のパートとの関わりを意識して表現しよう

【活動の流れ・内容】

1) パートレッスンを振り返ろう（個人内）

動画を見て、「他のパートとの関わりを意識するために解決すべきポイント」について気づいたことをメモしよう。

よかった点	解決すべきポイント

2) 調和のとれた合唱をするために必要な要素、ポイントはなんだろう（グループワーク）

自分たちのパートの担当箇所→（ A ・ B ・ C ・ DE ）の場面

パートであがった「解決すべきポイント」を挙げよう。

それぞれのパートからあがった意見を楽譜に書き込もう。 /必要なもの：楽譜・ペン

全体として調和のとれた合唱とするために、あなたはどのように表現を工夫しますか。
（ヒント：①発音（休符、ブレス、ユニゾン、掛け合い）②発声や声量（主旋律とハーモニー）③強弱④その他） 思考・判断・表現

A	
B	
C	
D E	

【最後に】

「調和のとれた合唱」ってどんな合唱のことだろう？

自分の考える「調和のとれた合唱」をするために大切なことをこれまで学習した言葉をヒントに考えてみよう。（ヒント：音符、休符、歌詞や発音、強弱、構成、和音など）

①自分の考える大切なこと・要素

②「他者との調和」を意識するために、あなたが合唱の練習を通して気づいたこと・学んだこと
例) 同じパートの人の声をよく聴くこと。（具体的に書いてみよう）